

第四回海外ビジネス研究会

日本と海外とのデザインの違いとは？

国内だけでなく海外でも通用する商品デザインを通じた、自社ブランド構築戦略

概要：

海外の企業、特に欧米の企業と日本の企業とを比べると、商品デザインのコンセプトに大きな違いがあります。日本の企業は、ともすれば機能的に優れたデザインに注力しがちですが、ヨーロッパの企業はどうでしょうか？

プレゼンターの川畑氏は、過去様々な業界の商品デザインに携わりましたが、たとえB to Bの分野であっても、ヨーロッパ企業の商品デザインは必ずしも機能デザインに特化したものではなかったそうです。

今回は、プロダクトデザイナーの川畑氏をお招きして、日本企業と海外の企業のデザインに関する考え方の違いを踏まえ、どのようにすれば海外でも通用するデザインを構築できるのか、そしてそのデザインにまつわるイメージを会社のブランドとしてどのように定着させていくのか、お話し頂きます。

日 時：平成30年4月20日（金）18：00～20：00（セミナー）
20：00～（懇親会）

場 所：柳野国際特許事務所（大阪市淀川区宮原1丁目15-1 ノスクマードビル）

参加費：5,000円（セミナーのみの場合3,000円）

問い合わせ先：06-6394-4831（柳野嘉秀まで）

申込フォーム：柳野国際特許事務所 HP → [当事務所について] → [セミナーのご紹介] より
(http://www.yanagino.com/attention_seminar.html)

講演者：ダフィ・デザイン 代表 川畑 大助 氏

<http://www.daffy-d.net/index>

2012年、株式会社キーエンスから独立し、ダフィ・デザインを設立。
生活雑貨から電子顕微鏡まで、ありとあらゆる商品のデザインを
22年にわたり手がけてきたプロダクトデザイナー。



・海外ビジネス研究会とは？

昨今の国際情勢を受け、日本企業が海外ビジネスに携わる機会はますます増えています。

しかし、言語障壁、海外市場の知識不足、商慣習の違いなど、多くの課題が解決途上であり、海外の消費者や市場を魅了できる日本企業はまだ少ないのが現実です。

本研究会は、このような問題の解決を図るための知識や経験を共有すると共に、既に海外ビジネスを経験している企業や、これからしたい企業を繋ぎ、相互に助け合うことで、日本企業が海外ビジネスで成功する手助けをすべく設立されました。